

SIP次世代海洋資源調査技術推進委員会・調査検討ワーキンググループ（第5回）
議事要旨

1. 日時：平成27年7月10日（金）9：30～11：30

2. 場所：国立研究開発法人海洋研究開発機構 SIP連絡室 会議室

3. 出席者：

（議長） 浦辺 徹郎 プログラムディレクター（PD）

（SubPD/PD代理）

浦 環 九州工業大学 社会ロボット具現化センター センター長、特別教授

（SubPD）堀田 平 海洋研究開発機構※ 理事

辻本 崇史 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 理事

（研究機関）

山崎 徹 産業技術総合研究所※地殻岩石研究グループ 主任研究員

木川 栄一 海洋研究開発機構※次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム長

磯崎 芳男 海洋研究開発機構※次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム長代理

鈴木 勝彦 海洋研究開発機構※次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム
成因研究ユニットリーダー

熊谷 英憲 海洋研究開発機構※次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム
成因研究ユニット主任技術研究員（説明者として出席）

吉田 弘 海洋研究開発機構※次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム
AUV複数機システム開発ユニットリーダー

村島 崇 海洋研究開発機構※次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム
ROVシステム開発ユニットリーダー

川口 勝義 海洋研究開発機構※次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム
長期観測システム開発ユニットリーダー

山本 啓之 海洋研究開発機構※次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム
生態系観測手法開発ユニットリーダー

田村 兼吉 海上技術安全研究所※ 研究統括主幹

林 輝幸 港湾空港技術研究所※ 企画課 課長補佐（代理出席）

吉江 宗生 湾空港技術研究所※ 企画管理部 研究計画官

松本 さゆり 湾空港技術研究所※ 海洋インフラ技術推進センター
上席研究官（説明者として出席）

久保田 隆二 一般社団法人海洋調査協会 SIPプロジェクト推進室長

浅川 栄一 次世代海洋資源調査技術研究組合 技術部長

吉村 直子 情報通信研究機構※ワイヤレスネットワーク研究所宇宙通信システム研究室
研究マネージャー

河地 正伸 国立環境研究所※ 生物・生態系環境研究センター
生物資源保存研究推進室長

※ 国立研究開発法人

（オブザーバー）

内閣府、総務省、文部科学省、国土交通省海事局、国土交通省港湾局、環境省

（事務局）

国立研究開発法人海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチ
ーム 企画調整ユニット

4. 議事：

- (1) 研究開発の進捗報告および追加配分を想定した計画の提案
- (2) その他

5. 配付資料

- 資料 1 海洋資源の成因に関する科学的研究 (海洋研究開発機構)
- 資料 2 海洋資源の成因に関する科学的研究 (産業技術総合研究所)
- 資料 3 海洋資源調査システム・運用手法の開発－航走観測を主体とした熱水鉱床探査－
(一般社団法人海洋調査協会)
- 資料 4 海洋資源調査システム・運用手法の開発－段階別・統合調査手法の確立－
(次世代海洋資源調査技術研究組合)
- 資料 5 AUV 複数運用手法等の研究開発－高効率小型システム－ (海上技術安全研究所)
- 資料 6 AUV 複数運用手法等の研究開発－高精度観測システム－ (海洋研究開発機構)
- 資料 7 ROV による高効率海中作業システムの開発－高効率コアリングシステムの技術開発－
(海洋研究開発機構)
- 資料 8 ROV による高効率海中作業システムの開発－音響ビデオカメラ高度化等－
(港湾空港技術研究所)
- 資料 9 衛星を活用した高速通信技術の開発 (情報通信研究機構)
- 資料 10－1 海洋生態系観測と変動予測手法の開発 (海洋研究開発機構)
- 資料 10－2 EcoDeep-SIP Workshop Announcement
- 資料 11 海洋生態系観測と変動予測手法の開発 (国立環境研究所)
- 資料 12 ケーブル式観測システムの開発 (海洋研究開発機構)
- 資料 13 次世代海洋資源調査技術 平成 27 年度年間スケジュール (平成 27 年 7 月 10 日時点)
- 参考資料 1 SIP 次世代海洋資源調査技術 調査検討ワーキンググループ構成員名簿
- 参考資料 2 SIP 次世代海洋資源調査技術推進委員会・調査検討ワーキンググループ (第 4 回) 議事概要

6. 議事概要

議事に先立ち、事務局から資料の確認と本日の進め方を説明したうえで、浦辺 PD からの挨拶があった。

(1) 研究開発の進捗報告および追加配分を想定した計画の提案

各研究開発課題の研究代表者から、平成 27 年度の進捗および追加配分を想定した計画の提案があった。

(2) その他

- ・平成 27 年度の年間スケジュールについて事務局および内閣府から案内があった。
- ・SIP 次世代海洋資源調査技術に関連したイベント等の案内があった。

以上